

川中先生のブログ

やれんのう — 広島弁

2013年05月31日 11時12分51秒

テーマ：日常



歌手のさだまさしさんが広島のコナサートでよく使います。

私もこの言葉気に入ってます。

今日車から降りるとき、膝を痛めてしまいました。

ただ車から降りただけなのに、着地がしくじった？年のせい？

本当に『もう、やれんのう。』と言った感じでした。

やれんとは夜間の練習じゃありません。

広島弁で「やってられない」の意。

「はあ～やれん」（もうできない）

「もう、やれんよの～」（もう我慢できないね、もう出来ないね）

<やれんのう>はそれでもまだ頑張ってみよう、もう少し我慢してやってみよう、

と言う気持ちが残っているときに使う言葉でしょうかね。

これが、『もうやれんわ。』と言いきったら、プツツン切れてしまったときでしょう。

今の世の中、やれん（やってられない）ことがえっと（いっぱい）あって、  
うまいしこ（うまく）行かんけど、わしら（われわれ）庶民は、  
『やれんのう。』とぼやいて、はぶて（ふてくされ）ながら、  
やねこい（面倒な）世の中をたいぎい（しんどい）けど、  
生きて行くしかないよのう。